

SUMITOMO

拠点所在地



フジメタルリサイクル東北は、金属や廃プラスチック、産業廃棄物など資源全般の再生事業を主力とする有明興業とフジメタルリサイクル、総合物流事業の相互運輸の3社を中核とする『AFUSOグループ』の一員として、フジメタルリサイクルの東北事業部を分社化するかたちで2021年に設立した。

AFUSOグループの一員として
2021年に分社化・設立

東北を表す言葉に「みちのく」がある。旧国の陸奥国（現在の青森、岩手、宮城、福島、秋田北東部）が由来とされ、陸の果ての意味を持つという。現在では東北地方の通称として使われることも多い。その広大な土地では農業が盛んに行われ、沿岸部を中心とする地域では鉄鋼業も発展してきた。この「みちのく」に5工場を構えて鉄リサイクル事業を展開するフジメタルリサイクル東北（本社：仙台市青葉区、船生和洋社長）を訪ねた。

友建機
リサイクル紀行

Vol.40 フジメタルリサイクル東北（宮城県）



釜石工場（岩手県釜石市）

給も行っている。鉄スクラップの月間取扱量はおよそ8000ト。各拠点に有する加工処理設備や現場スタッフの手によってユーザーが求める原料供給を行う。出荷先は鉄鋼メーカーを中心に、製造メーカー向けの資材も供給している。

AFUSOグループが持つ総合力は同社の大きな強みだ。相互運輸では大型トレーラー

やローダー・クレーン・装束の特車車両など、幅広いタイプの車両を揃えており、物流のプロたちが柔軟な対応で現場の要請に即応する。

受け入れ体制も整えている。金属スクラップを扱うフジメタルリサイクル東北では、突発的な案件や品物に対しても「NO」といわない。対応を心がけているという。「まずは受け入れること。どう対応するかはその後に考える」と船生社長は話し、各現場でも意識を徹底しているという。車

両や加工設備などのハード面だけではなく、社員の心がけも質が高いサービスにつながっている。フジメタルリサイクル東北の初代社長に就任した船生社長は「引き受けるしかなかった」と謙遜するが、自身は長年現場に携わり豊富な経験を持つ大ベテランだ。もともと

「現場の声」聞く運用を継続
拠点間の連携も一層強化へ

新会社となった組織の方針について船生社長は「やはり従業員あつての組織だ。現在はおよそ60名のスタッフがいます。それぞれが生き生きと働ける環境をつくるのが我々の大事な仕事だ」と話す。誰よりも現場を知る船生社長

長は、時間を見つけて各工場を回り、現場の声を聞く。経営者が思うことと現場が考えることは必ずしも一致しない。最近では若い社員も増えている。「そんなことって、」と思うような些細なことでも本人にとっては深刻だ。全員が納得いく運用は難しいが、聞く耳を持つことを忘れずにいたい」という。



船生和洋社長

一方で会社組織となった以上は、売り上げや利益がいうまでもなく重要な要素となる。

組織全体を統轄する身として一方に肩入れするようにはしない。各拠点の工場長や副工場長には運用面で裁量を与えるなど、自主性を促す仕組みも整えている。メンバーからの要請は現場の上長を通して経営側が吸い上げる。会社として成長を続けるためのキーワードとなるのが『拠点間の連携強化』だ。5工場には地域性や加工技術、工場長の性格に至るまでそれぞれに異なる強みがある。同じ会社の仲間同士が理解を深めるために今年には希望者を募って温泉旅行も実施した。社内での連携を強化し、相乗効果を高めながら、組織の活性化を図り、グループの一員として活躍の幅を広げていく。

～住友建機がある風景～



SH330LC-7：北上工場の鉄スクラップ取扱量は月間（北上工場）3,000トでフジメタルリサイクル東北において最大だ。専用の建屋にはブリケットマシンを9台設置しており、月間およそ2,000トのドライ粉を加工している。

初の住友建機「活躍に期待」

フジメタルリサイクル東北では今年5月に釜石工場に住友建機「SH250-7MF」を導入、7月には北上工場に「SH330LC-7」を導入した。マグネフォーク仕様のSH250は釜石工場のスクラップ荷役マシンとして、アタッチメントの切断機を装着したSH330は北上工場では鉄骨などを加工処理するマシンとして、それぞれタフな現場で活躍している。

同社の住友建機の採用はこれまでになく、釜石工場の導入が初となった。船生社長は住友建機の営業が決めた手だったと話す。新しい重機の導入を検討する際、釜石工場の上野友和工場長から、住友建機の営業が毎月来ていることを伝えられたという。取引先が住友建機ユーザーだったこともあり、担当



SH250-7MF(釜石工場)

営業に連絡を入れた。「毎月来ると言われたら無下にできない」と船生社長は笑う。住友建機の機械性能と営業スタッフの熱意が採用に結びついた一例となった。

機械の稼働は工場の生命線だ。マシンの機能性やメンテナンス対応など、これからの住友建機の活躍に期待が寄せられている。



北上工場（岩手県北上市）

担当：似鳥 直弥

この度は弊社機械を導入していただき有難うございます。「住友建機を選んでよかった」と思っていただけに営業・サービスとも尽力してまいります。



住友建機販売株式会社 仙台支店
〒989-2426 宮城県岩沼市末広1丁目5番20号
Tel : 050-9001-8631 Fax : 0223-24-1156